

長生村長賞

たぐち としえ
田口 俊衛

88才になる母さんへ

一昨年の12月に脳梗塞で倒れ、今埼玉にある高齢者住宅にいる母さん。

少し安定してきている母さん、笑い顔が無くなった母さん。

この頃食事をしている母さんを見た事がない。

けれど、ペーストで食事をしているらしい。

いつまでも食事ができる母さんでいて欲しい。

この頃「サツマイモが食べたい」と俺に話(はな)してくる母さん。

そんな自己主張ができる母は素晴らしい。

夜眠れなくなると俺の名前や、母の妹の名前を呼んでいるらしい。

きっと話し相手が欲しいのだろう。

言葉がはっきりと言える母さん。

そんな母を見ていると、さびしがりやで少し可愛い。

自分で動くことができないから歯がゆい事もあるのだろう。

欲しいものがあれば、何でも話(はな)してほしい母さん。

俺は1か月に2回くらいしか行けなくて、すぐに答えられないけど、必ず持って行ってやるよ。その代わりにいつでも元気な姿を見せて欲しい母さん。

何でもいいから明るい表情で話(はな)しかけて欲しい母さん。

好きなものを食べて欲しい母さん。食べる姿も美しい。

植木の手入れをしていた頃の母さんを思い出す事も懐かしい。

裁縫をしていた頃の母さんも格好いい。

58年間重度障害者の俺を育ててくれた末だ末だ生きていて欲しいよなあ、母さん。

(東京都／59歳)